

# 合同教育研究会議（5月15日開催）議事概要

## 1 開催日時

令和元年5月15日（水）13:00～14:55

## 2 場所

本部棟3階 特別会議室

## 3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼企画本部長、堀江副学長兼事務局長、高橋教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、伊東国際教育研究部長、武田看護学部長、桐田社会福祉学部長、猪股ソフトウェア情報学部長、吉野総合政策学部長、千葉盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、浅沼委員（学外委員：名古屋大学名誉教授）、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）

（事務局）葛尾事務局次長兼総務室長、岡部教育支援室長、関屋高等教育室長、鎌田学生支援室長、佐藤研究・地域連携室長、藤村企画室長、長崎宮古事務局長、金戸主幹、和山主事

## 4 会議の概要

### 議事録確認

前回国議4月10日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

### 審議事項

なし

### 協議事項

なし

### 報告事項（口頭報告）

#### (1) 平成31年度岩手県立大学副専攻「いわて創造教育プログラム」第1期生修了証授与式の開催結果について（資料No.1）

石堂高等教育推進センター長から資料に基づき、平成28年度に開設した副専攻「いわて創造教育プログラム」の第1期生を対象とした修了証授与式の開催結果について報告があった。

委員から、プログラムを修了した学生の進路等を調査し、今後のプログラムの運営等に活用してはどうかとの意見があった。

#### (2) 令和元年度全学FD・SDプログラム第1回高等教育セミナー開催要項について（資料No.2）

高橋本部長から資料に基づき、5月17日（金）に開催する令和元年度全学FD・SDプログラム第1回高等教育セミナーへの教職員の出席について要請があった。

- (3) 令和元年度岩手県高等学校長協会・岩手県立大学教育懇談会の開催について（資料No. 3）
- 高橋本部長から資料に基づき、6月28日（金）に令和元年度岩手県高等学校長協会・岩手県立大学教育懇談会を開催することについて説明があった。
- (4) 平成30年度岩手県立大学の就職内定状況（平成31年3月31日現在）について（資料No. 4）
- 似鳥本部長から資料に基づき、平成31年3月31日現在の就職内定状況について報告があった。
- 鈴木学長から、本学の四大学の編入学生は定員を充足していない一方で、盛岡短期大学部及び宮古短期大学部の他大学への編入学生は増えていることを鑑み、今後、四大学の編入学生受入れのあり方を検討する必要があるとの発言があった。
- (5) 平成30年度学生の健康管理、学生相談、特別支援の実績について（資料No. 5）
- 似鳥本部長から資料に基づき、平成30年度に実施した学生の健康管理、学生相談、特別支援の実績について報告があった。
- (6) 岩手県と岩手県立大学との意見交換会の今後の対応について（資料No. 6）
- 狩野本部長から資料に基づき、6月13日（木）に開催する岩手県と本学との意見交換会に係る今後の対応について説明があった。
- (7) 国連アカデミック・インパクトへの参加申請等について（資料No. 7）
- 狩野本部長から資料に基づき、国連アカデミック・インパクトへの参加申請を行ったことから、ホームページ作成等への協力について依頼があった。
- (8) プレスリリースの活用等について（資料No. 8）
- 狩野本部長から資料に基づき、広報媒体として活用しているプレスリリース等について、改めて説明があった。
- (9) 高等教育推進センターの全学的位置付けについて（資料No. 9）
- 葛尾事務局次長から資料に基づき、組織体制を見直した高等教育推進センターの全学的位置付けについて報告があった。
- 委員から、この位置付けはどのようにして決定したのか。センター内に学部長相当の職の部長が3人いることは妥当なのか等の意見があり、鈴木学長から、高等教育推進センターが自主的な組織になることを期待して位置付けたが、意見があったことを踏まえて来年度に向けて全学的な位置付けを検討するとの発言があった。
- (10) 第三期中期計画期間における収支ギャップへの対応状況について（資料No. 10）
- 葛尾事務局次長から資料に基づき、第三期中期計画期間における収支ギャップを解消する手段としての取組について報告があった。
- 委員から、本部等で依頼した土日勤務に対する超過勤務手当については、学部ではなく全学の予算で対応してほしいとの意見があり、鈴木学長から、裁量労働制との兼ね合いもあるが検討するとの発言があった。また、委員から収支ギャップの改善に貢献した場合は、公益性の高い事業に協力した学部や教員に、研究費を配分する等のインセンティブがほしいとの意見があった。

#### 報告事項（資料報告）

- (1) 「いわて高等教育コンソーシアム」令和元年度本学体制等について（資料No.11）
- (2) 2019 年度夏季海外研修の実施及び国際ボランティアプログラムの紹介について（資料No.12）
- (3) 令和2年度サバティカル研修者推薦依頼について（資料No.13）
- (4) 2019 年いわて高校生小論文コンクールについて（資料No.14）
- (5) 平成30年度優秀学生賞の決定について（資料No.15）
- (6) 全学競争研究費の公募開始について（資料No.16）
- (7) 令和元年度岩手県立大学雇用創出研究事業における研究課題の公募開始について（資料No.17）
- (8) 2019 年度地域協働研究採択課題の決定について（資料No.18）
- (9) 令和元年度研究・地域連携本部主催の公開講座について（資料No.19）
- (10) 令和元年度臨時託児の利用登録申込について（資料No.20）

#### その他

佐藤研究・地域連携室長から、4月に締結した「北いわての地域課題の解決及び産業振興に向けた岩手県立大学と岩手県との連携協力協定」の近況について報告があった。

狩野副学長兼企画本部長から、大学基準協会が発行した冊子「じゅあNo.62」を机上に配布している旨説明があった。